

「世界史のテストに出そうな問題。」解答用紙

/100

I	1	会議	クレルモン公会議	教皇	ウルバヌス2世	完全解答1点	
	2	農業生産力の向上により(農業革命により)、人口が増加し、また、巡礼の流行や聖者および聖遺物崇拝、異教への偏見や敵対心により、宗教的情熱が高揚し、レコンキスタやドイツの東方殖民により西ヨーロッパ世界が膨張しつつあったため、十字軍は行われた。 (減点法3点)				減点法 3点	
	3	教皇	東西教会の統一(1)	諸侯や騎士ら	領地や戦利品の獲得(1)		
		商人	東方貿易への欲望(1)	農奴	農奴身分からの解放(1)		
	4	4500	セルジューク	フリードリヒ1世	サラディン		
		リチャード1世	インノケンティウス3	フリードリヒ2世	外交交渉		
		ルイ9世	エジプト	チュニス	問い イェルサレム王国		
		輸送を担当したヴェネツィア商人に利用され、コンスタンティノープルを攻略し、ラテン帝国を建てた。(4)					
	5	教皇権は高揚したものの、失敗により失墜し、諸侯や騎士は没落したのに対し、十字軍				揮を執った王権は伸張し、中央集権化が促進された。(洞6	12世紀ルネサンス(1)
II	1	商品	木材、ニシン、鉄、琥珀、毛衣、穀物、羊毛、毛織物のうち5つ(完)				
		都市	ガン、ブリュージュ、リュベック、ハンブルク、ブレーメン、ロンドンのうち3つ(完)				
	2	南北に大商業圏を結ぶ内陸交通路の集まるところに、物資の一大集散地となったため					
	3	都市の空気は自由にする。(1) 4		ドイツでは、皇帝に直属する必要があった(1)			
	5	ロンバルディア地方(1)		6 ギルド(1)			
	7	アウグスブル	フッガー家	フィレンツェ	メディチ家(完1)		
III	1	教会への課税問題をめぐって、フランス王フィリップ4世と抗争していたボニファティウス8世がアナーニに滞在中に急襲されて、捕らえられた事件。(4)					
	2	A	クレメンス5世	B	アヴィニョン	C 教皇のバビロン捕囚(完2)	
	3	A	人物	ウィクリフ	理由	教会大分裂(大シスマ) (完1)	
		B	大学	プラハ大学	人物	フス (完1)	
	4	完全解答	1 × 2	反乱名	首謀者		
		イギリス	ワット=タイラーの乱		ワット=タイラー(ジョンボール)		
		フランス	ジャックリーの乱		ギョーム=カール(カルル)		
	5	商業と都市の発展により貨幣経済が浸透するにつれ、封建地代は貨幣により納められるようになったため、農民は貨幣を蓄えて経済力をつけ、また、気候の寒冷化による、凶作や飢饉、黒死病の流行や戦乱により、農民の数が減少したために、農民の地					

解答欄注意！！

減点法4点

V	1	レコンキスタ	3	グラナダ	4	カスティリヤ王国	
	2	カスティリヤ王女のイザベルとアラゴン王子のフェルディナントの結婚による。				5	ジョアン2世

1 × 5

IV	1	ノルマン王朝は征服王朝であったため(1)							
	2	プランタジネット朝(1)	3	マグナ=カルタ(大憲章)(1)	4	シモン=ド=モンフォール(1)			
	5	議会	模範議会	王	エドワード1世(完1)	6	王	フィリップ2世	
	7	ヴァロワ朝			名称	アルビジョワ十字軍			
	8	口実 エドワード3世がフランス王位の継承権を有することによる王位継承問題。 目的 イギリスが、羊毛を輸出して、利益をあげていた、フランスの毛織物産地として重要なフランドル地方を直接支配の下におこうとしたので、この地方にフランスが勢力を伸ばすことを阻止するため。(減点法4点)							
	9	クレシーの戦い(1)	10	ポワティエの戦い(1)	12	カレー(1)			
	11	A	シャルル7世	B	人物	ジャンヌ=ダルク	町	オルレアン	
	13	イギリスで起きたランカスターとヨークの両家による王位継承の内乱で、諸侯や騎士は両派に分かれて激しく戦い、その結果、彼らは没落したため、さらに中央集権化が進められた。 赤バラ ランカスター家 白バラ ヨーク家							
VI	1	A	大空位時代	B	カール4世	完1	完3		
		C	名称	金印勅書(1)		内容		ドイツ皇帝の選挙の手続きを定め、皇帝選出権を聖俗の七選帝侯に認めた。(1)	
	2	和約	バーゼルの和約(1)	条約	ウェストファリア条約(1)				
	3	教皇党	ゲルフ	皇帝党	ギベリン	完1			
		理由	ドイツがイタリア政策をもってイタリアに介入してきたため(1)				減点法		
	4	名称	カルマル同盟	主導者	マルグレーテ	完4			
		形態	同君連合					↓	
VII	1	A	古典学	B	キリスト教	C	カロリング=ルネサンス	D	実在
		E	唯一	F	トマス=アキナス	G	神学大全	H	ロジャー=ベーコン
		I	イスラーム	J	ウィリアム=オッカム	2			哲学は神学の婢(2)
	3	A	バジリカ式	B	ローマ	C	列柱	D	ローマ
		E	ビザンツ式	F	ギリシア十字形	G	ドーム	H	宗教画モザイク
		I	聖ソフィア大聖堂	J	コンスタンティノープル	K	ゴシック式	L	12
		M	ラテン十字形	N	弓窿	O	円頭アーチ	P	封建的秩序
		Q	クリュニー	R	ピサ大聖堂	S	マインツ大聖堂	減点法10点	
		T	12~14世紀に西欧を中心に発達し、高い弓窿と塔、尖頭アーチ、大きな窓、ステンドグラス、飛梁。塔や天井の高さは教会権力の隆盛と新興市民の豊富な財力を象徴している。(減点法3点)						
		U	アミアン	V	シャルトル	W	ケルン		
	4	学生組合から発展したものをUniversity、教会の付属学校から発展したものをCollegeと							